

# 長沼町会館・福祉施設個別施設計画

令和5年4月

長沼町税務住民課

## 目次

1	策定の目的と位置付け	1
2	計画期間	1
3	標準使用年数の設定	1
4	対象施設及び劣化状況	
	(1) 劣化状況の評価の基準	1
	(2) 対象施設及び劣化状況	2
5	個別施設に係る方針	
	(1) 個別施設の今後の方針に係る用語の定義	2
	(2) 個別施設の方針	3
	(3) 対策の優先順位の考え方	3
	(4) 個別施設計画シート	4～13

# 会館・福祉施設一覧

- 1 長沼町民会館
- 2 北長沼会館
- 3 南長沼会館
- 4 西長沼会館
- 5 舞鶴会館
- 6 北長沼福祉センター
- 7 南長沼福祉センター
- 8 東部福祉センター
- 9 西部福祉センター
- 10 中央長沼会館

## 1 策定の目的と位置付け

本計画は、平成29年3月に策定した「長沼町公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設等としての機能を維持し、効率的かつ効果的な管理を行うことができるよう、長期的な視点で公共施設等の適切な規模とあり方を検討し、総合的かつ計画的な方向性を示すため税務住民課が所管する各会館及び福祉センターなど施設ごとに対応方針を策定するものです。

また、本計画は、国のインフラ長寿命化基本計画で示された「個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）」に位置付けるものであります。

## 2 計画期間

計画期間は、令和5年度から令和15年度までの10年間とします。なお、今後の社会情勢等によって公共施設等を取り巻く環境は変化し得るため、必要に応じて計画内容の見直しを適宜行うこととしております。

## 3 標準使用年数の設定

施設の寿命を想定する指標としては、法定耐用年数（注1）が存在しますが、実際には、法定耐用年数を超えて使用する場合が一般的であり、このため、今後の施設の維持、長寿命化等の目安として、建築物の耐久計画に関する考え方の範囲に基づき、計画建替え年数平均値（採用値）を次のとおり設定し、個別施設の今後の方針を決定する参考とします。

なお、設定の根拠については、（一社）日本建築学会の「建築物の耐久計画に関する考え方」を参考とし、本計画では平均値を採用することといたします。

（注1：法定耐用年数とは、固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた年数。）

建築物の構造	建築物の耐久計画に関する考え方の範囲	計画建替え年数平均値（採用値）
RC造（鉄筋コンクリート造）	50年～80年	65年
SRC造（鉄骨鉄筋コンクリート造）		
S造（重量）（鉄骨造）		
CB造（コンクリートブロック造） SB造（セラミックブロック造は、CB造に準じる。）		
S造（軽量）（鉄骨造）	30年～50年	50年
W造（木造）		

## 4 対象施設及び劣化状況

本計画の対象施設は、(2)に掲げる施設であり、当該対象施設について、目視による劣化状況の評価を行いました。なお、劣化状況の評価の基準は、(1)に記載のとおりです。

### (1) 劣化状況の評価の基準

評価	劣化状況の基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

(2) 対象施設及び劣化状況

No.	施設名	施設概要										劣化状況							
		建築年度	改築年度	①経過年数	②標準使用年数	③	④	延床面積(m <sup>2</sup> )	構造種目	耐震化	地上階	屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	給水設備	排水設備	空調設備	その他設備
1	町民会館	S57	-	41	65	24	1,840.88	RC	不要	2	B	B	B	B	B	B	B	B	B
2	北長沼会館	S49	-	49	65	16	523.84	RC	不要	2	C	C	C	C	C	C	C	C	B
3	南長沼会館	S50	-	48	65	17	532.58	RC	不要	2	D	C	C	C	C	C	D	C	B
4	西長沼会館	S57	-	41	65	24	333.00	RC	不要	1	D	B	B	B	B	B	B	B	B
5	舞鶴会館	S57	-	41	65	24	162.00	S	不要	1	B	B	B	B	C	B	B	B	B
6	北長沼福祉センター	S45	-	53	65	12	281.51	SB	不要	1	C	C	C	B	C	C	C	C	B
7	南長沼福祉センター	S45	-	53	65	12	279.45	SB	不要	1	C	C	C	B	C	C	C	C	B
8	東部福祉センター	S53	-	45	50	5	331.24	S	不要	2	C	C	C	B	C	C	C	C	B
9	西部福祉センター	S53	-	45	50	5	331.24	S	不要	2	C	C	C	B	C	C	C	C	B
10	中央長沼会館	S53	-	45	65	20	663.13	RC	不要	2	B	B	B	B	B	B	B	B	B

5 個別施設に係る方針

(1) 個別施設の今後の方針に係る用語の定義

存続	施設を維持すること。
更新	施設の建替え(移転、統合及び複合化による建替えを含む。)をすること。
廃止	施設を廃止すること。
統合	類似施設の機能を、その施設に集約すること。
複合化	別の施設の異なる機能をその施設に集約すること。

(2) 個別施設の方針

個別施設に係る今後10年間の方針は次のとおりとします。なお、当該方針は、社会情勢等の変化や個別施設の劣化状況等に応じ、適宜見直しながら取組みます。

No.	施設名	今後10年間の方針	
1	長沼町民会館	存続又は統合	築41年が経過しており、施設の老朽化があるものの地域コミュニティ施設も担っており、また、(仮称)長沼町一体型学校の建設が計画されていることから、機能移転や他の類似施設との統合等を見据え検討を行う。
2	北長沼会館	存続又は統合	昭和49年に取得し49年経過しており、施設の老朽化が著しいこと、また、学校統合により学童保育も他施設へ移管されていることから、残存期間中は現状維持とするが、今後の利用状況を勘案し将来的には他の施設との統合・機能移転を検討する。
3	南長沼会館	存続又は統合	昭和50年に取得し48年経過しており、施設の老朽化が著しいこと、また、学校統合により学童保育も他施設へ移管されていることから、残存期間中は現状維持とするが、今後の利用状況を勘案し将来的には他の施設との統合・機能移転を検討する。
4	西長沼会館	存続又は統合	施設の老朽化があるものの地域会館機能も担っていることから当面現状維持とするが、今後の利用状況を勘案し将来的には他の施設との統合・機能移転を検討する。
5	舞鶴会館	存続又は統合	施設の老朽化があるものの地域会館機能も担っていることから当面現状維持とするが、今後の利用状況を勘案し将来的には他の施設との統合・機能移転を検討する。
6	北長沼福祉センター	存続又は統合	北長沼会館と併設されており、施設の老朽化が著しく、また、利用者数も低迷しており今後も増加が見込めないことから北長沼会館と一体的に他の施設との統合・機能移転を検討する。

No.	施設名	今後10年間の方針	
7	南長沼福祉センター	存続又は統合	南長沼会館と併設されており、施設の老朽化が著しく、また、利用者数も低迷しており今後も増加が見込めないことから南長沼会館と一体的に他の施設との統合・機能移転を検討する。
8	東部福祉センター	存続又は統合	施設の老朽化があるものの地域会館機能も担っていることから当面現状維持とするが、今後の利用状況を勘案し将来的には他の施設との統合・機能移転を検討する。
9	西部福祉センター	存続又は統合	施設の老朽化があるものの地域会館機能も担っていることから当面現状維持とするが、今後の利用状況を勘案し将来的には他の施設との統合・機能移転を検討する。
10	中央長沼会館	存続又は統合	施設の老朽化があるものの地域会館機能も担っていることから当面現状維持とするが、スポーツセンターと併設されており、今後の利用状況や他の施設の動向などを総合的に勘案し将来的には他の施設との統合・機能移転を検討する。

### (3) 対策の優先順位の考え方

対策の優先順位の考え方は、施設の役割、機能、利用状況等を考慮し、改修が必要な箇所の優先順位を考えるものとする。

南北会館と南北福祉センターは、渡り廊下で接続されており両施設で共有している部分、また、利用状況によっては一体的に利用する場合がありますので、改修・建替え・解体については、一体的に行うものとする。

## 1 施設の概要

施設名	町民会館	延床面積	1,840.88㎡
所在地	長沼町中央南2丁目3番2号	建築年度	昭和57年度
構造種別	RC造（鉄筋コンクリート造）	階数	一部2階建て

## 2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続又は統合
説明	外壁、屋根、内部仕上げには建築後ほぼ補修されておらず、著しい劣化が見られる。また、電気設備・給水設備・排水設備は、不具合の都度、適切な維持補修はされているものの、設備については更新されておらず、ほぼすべての設備が耐用年数を超過しており、修繕の際の部品調達が困難となっていること、また機能性の低下が生じている。このため、施設・設備の更新を計画的に推進しないと施設が十分に機能しないなど利用に支障をきたす可能性があるため外壁、屋根などに長寿命化対策を講じなければならない。

## 3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

平成21年度に屋上ウレタン防水工事以外の大規模な補修はされておらず、外壁、内部仕上げには広範囲に劣化が見られる。電気設備・給水設備・排水設備は、更新されておらず、耐用年数を大幅に超過している設備もあり、機能性の低下が生じている。このため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性がある。
--

## 4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

本町における地域コミュニティ活動の促進・生活文化水準の高揚など地域内交流の拠点施設として昭和57年度に建設された。町民の地域コミュニティ活動はもとより、健康増進や芸術・文化活動の拠点としての機能を有しており、今後も利用が見込まれる。
--

## 5 改修等の対策の優先順位の考え方

当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、空調、電気、給排水などの設備の維持補修を優先とする。
---

## 6 施設利用需要

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用者数	50,405	17,544	43,258	

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉鎖。

## 7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
保守コスト				
運用コスト	14,887	14,140	15,376	
修繕コスト	1,052	873	55	
合計	15,989	15,013	15,431	

収入	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用料	2,526	2,969	3,335	
その他収入				
合計	2,526	2,969	3,335	

## 1 施設の概要

施設名	北長沼会館	延床面積	523.84㎡
所在地	長沼町東1線北15番地	建築年度	昭和49年度
構造種別	RC造（鉄筋コンクリート造）	階数	一部2階建て

## 2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続又は統合
説明	<p>外壁、屋根、内部仕上げには建築後ほぼ補修されておらず、著しい劣化が見られる。また、電気・給水・排水・暖房などの設備は、不具合の都度、適切な維持補修しているものの、設備本体については更新されておらず、すべての設備が耐用年数を超過しており、部品調達が困難、また、機能性の低下が生じている。</p> <p>このため、施設・設備の更新を計画的に推進しないと今後施設が十分に機能しないなど利用に支障をきたす可能性があるため外壁、屋根などに長寿命化対策を講じなければならない。</p>

## 3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

<p>建築後、屋根葺替工事以外の大規模な補修はされておらず、外壁、屋根、内部仕上げには広範囲に劣化が見られる。また、電気設備・給水設備・排水・暖房などの設備についても同様に、耐用年数を大幅に超過している設備もあり、機能の低下が生じている。このため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性がある。</p>
---

## 4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

<p>本町住民の学習、保育、休養又は集会の用に供するための共同利用施設として昭和49年度に建設された。市民の地域コミュニティ活動はもとより、子供たちの教育の振興、健康増進や芸術・文化活動の拠点としての機能しているものの、近年では、学校統合や新たに児童館が新設され、学童保育など一部の機能が移転され利用人数は減少している。現在は、地域のコミュニティ活動を中心として利用されており、利用人数は減少しているものの、災害時の避難所に指定されていた学校の廃校に伴う公有財産の処分も予定されていることから避難所の指定が想定されている。</p>
---

## 5 改修等の対策の優先順位の考え方

<p>当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、空調、電気、給排水などの設備の維持補修を優先とする。</p>
--

## 6 施設利用需要

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用者数	4,748	1,781	1,165	

※令和1、2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉鎖。

## 7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
保守コスト				
運用コスト	2,818	2,034	2,084	
修繕コスト	34	107	105	
合計	2,852	2,141	2,189	

収入	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用料	226	94	120	
その他収入				
合計	226	94	120	

## 1 施設の概要

施設名	南長沼会館	延床面積	532.558㎡
所在地	長沼町東4線南6番地	建築年度	昭和50年度
構造種別	RC造（鉄筋コンクリート造）	階数	一部2階建て

## 2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続又は統合
説明	<p>外壁、屋根、内部仕上げには建築後ほぼ補修されておらず、著しい劣化が見られる。また、電気・給水・排水・暖房などの設備は、不具合の都度、適切な維持補修しているものの、設備本体については更新されておらず、すべての設備が耐用年数を超過しており、部品調達が困難、また、機能性の低下が生じている。</p> <p>このため、施設・設備の更新を計画的に推進しないと今後施設が十分に機能しないなど利用に支障をきたす可能性があるため外壁、屋根などに長寿命化対策を講じなければならない。</p>

## 3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

<p>建築後、大規模な補修はされておらず、外壁、屋根、内部仕上げには広範囲に劣化が見られ、特に、屋根については、強雨時には、雨漏りが発生している。また、電気設備・給水設備・排水・暖房などの設備についても同様に、耐用年数を大幅に超過している設備もあり、機能の低下が生じている。このため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性がある。</p>
---

## 4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

<p>本町住民の学習、保育、休養又は集会の用に供するための共同利用施設として昭和50年度に建設された。市民の地域コミュニティ活動はもとより、子供たちの教育の振興、健康増進や芸術・文化活動の拠点としての機能しているものの、近年では、学校統合や新たに児童館が新設され、学童保育など一部の機能が移転され利用人数は減少している。現在は、地域のコミュニティ活動を中心として利用されており、利用人数は減少しているものの、災害時の避難所に指定されていた学校の廃校に伴い処分されていることから避難所の指定が計画されている。</p>
---

## 5 改修等の対策の優先順位の考え方

<p>当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、空調、電気、給排水などの設備の維持補修を優先とする。</p>
--

## 6 施設利用需要

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用者数	7,011	2,006	580	

※令和1、2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉鎖。

## 7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
保守コスト				
運用コスト	1,889	1,333	1,485	
修繕コスト	91	35	255	
合計	1,980	1,368	1,740	

収入	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用料	35	15	51	
その他収入				
合計	35	15	51	

## 1 施設の概要

施設名	西長沼会館	延床面積	333.00㎡
所在地	長沼町西7線南4番地	建築年度	昭和57年度
構造種別	RC造（鉄筋コンクリート造）	階数	平屋建て

## 2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続又は統合
説明	<p>外壁、屋根、内部仕上げには建築後ほぼ補修されておらず、劣化が見られる。また、電気・給水・排水・暖房などの設備は、不具合の都度、適切な維持補修しているものの、設備本体については更新されておらず、ほぼすべての設備が耐用年数を超過しており、部品調達が困難、また、機能性の低下が生じている。</p> <p>このため、施設・設備の更新を計画的に推進しないと今後施設が十分に機能しないなど利用に支障をきたす可能性があるため外壁、屋根などに長寿命化対策を講じなければならない。</p>

## 3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

<p>建築後、大規模な補修はされておらず、外壁、屋根、内部仕上げには広範囲に劣化が見られ、特に、屋根については、強雨時には、雨漏りが発生している。また、電気設備・給水設備・排水・暖房などの設備についても同様に、耐用年数が超過している設備もあり、機能の低下が生じている。このため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性がある。</p>
--

## 4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

<p>本町における学習、保育、休養又は集会の用に供するための拠点施設として昭和57年度に建設された。町民の地域コミュニティ活動はもとより、健康増進や芸術・文化活動の拠点としての機能を有しており、利用人数は減少しているものの今後も利用が見込まれる。</p>
---

## 5 改修等の対策の優先順位の考え方

<p>当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、空調、電気、給排水などの設備の維持補修を優先とする。</p>
--

## 6 施設利用需要

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用者数	2,597	590	362	

※令和1、2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉鎖。

## 7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
保守コスト				
運用コスト	1,839	1,696	1,832	
修繕コスト	91	121	508	
合計	1,930	1,817	2,340	

収入	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用料	3	0	0	
その他収入				
合計	3	0	0	

## 1 施設の概要

施設名	舞鶴会館	延床面積	162.00㎡
所在地	長沼町東5線南12番地	建築年度	昭和57年度
構造種別	S造（鉄骨造）	階数	平屋建て

## 2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続又は統合
説明	<p>外壁、屋根、内部仕上げには建築後ほぼ補修されておらず、劣化が見られる。また、電気・給水・排水・暖房などの設備は、不具合の都度、適切な維持補修しているものの、設備本体については更新されておらず、ほぼすべての設備が耐用年数を超過しており、部品調達が困難、また、機能性の低下が生じている。</p> <p>このため、施設・設備の更新を計画的に推進しないと今後施設が十分に機能しないなど利用に支障をきたす可能性があるため外壁、屋根などに長寿命化対策を講じなければならない。</p>

## 3 施設の状況(劣化・損傷の状況や要因等)

<p>建築後、大規模な補修はされておらず、外壁、屋根、内部仕上げには広範囲に劣化が見られる。また、電気設備・給水設備・排水・暖房などの設備についても同様に、耐用年数が超過している設備もあり、機能の低下が生じている。このため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性があるため外壁、屋根の長寿命化対策を講じなければならない。</p>
--

## 4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

<p>本町における学習、保育、休養又は集会の用に供するための拠点施設として昭和57年度に建設された。町民の地域コミュニティ活動はもとより、健康増進や芸術・文化活動の拠点としての機能を有しており、利用人数は減少しているものの今後も利用が見込まれる。</p>
---

## 5 改修等の対策の優先順位の考え方

<p>当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、空調、電気、給排水などの設備の維持補修を優先とする。</p>
--

## 6 施設利用需要

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用者数	588	481	285	

※令和1、2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉鎖。

## 7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
保守コスト				
運用コスト	1,372		1,440	
修繕コスト	6			
合計	1,378	1,283	1,440	

収入	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用料	0	0	1	
その他収入				
合計	0	0	1	

## 1 施設の概要

施設名	北長沼福祉センター	延床面積	281.51㎡
所在地	長沼町東1線北15	建築年度	昭和45年度
構造種別	SB造（セラミックブロック造）	階数	平屋建て

## 2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続又は統合
説明	<p>外壁、屋根、内部仕上げには建築後ほぼ補修されておらず、劣化が見られる。また、電気・給水・排水・暖房などの設備は、不具合の都度、適切な維持補修しているものの、設備本体については更新されておらず、ほぼすべての設備が耐用年数を超過しており、部品調達が困難、また、機能性の低下が生じている。</p> <p>このため、施設・設備の更新を計画的に推進しないと今後施設が十分に機能しないなど利用に支障をきたす可能性があるため外壁、屋根などに長寿命化対策を講じなければならない。</p>

## 3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

<p>建築後、大規模な補修はされておらず、外壁、屋根、内部仕上げには広範囲に劣化が見られる。また、電気設備・給水設備・排水・暖房などの設備についても同様に、耐用年数が超過している設備もあり、機能の低下が生じている。このため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性がある。</p>
---

## 4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

<p>本町における母と子、老人及び住民の福祉の増進など地域内交流の拠点施設として昭和45年度に建設された。町民の地域コミュニティ活動はもとより、健康増進や芸術・文化活動の拠点としての機能を有しており、利用人数は減少しているものの今後も利用が見込まれる。</p>
--

## 5 改修等の対策の優先順位の考え方

<p>当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、空調、電気、給排水などの設備の維持補修を優先とする。</p>
--

## 6 施設利用需要

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用者数	1720	509	326	

※令和1、2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉鎖。

## 7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
保守コスト				
運用コスト	588	595	736	
修繕コスト		6	50	
合計	588	601	786	

収入	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用料	177	94	50	
その他収入				
合計	177	94	50	

## 1 施設の概要

施設名	南長沼福祉センター	延床面積	279.45㎡
所在地	長沼町東4線南6番地	建築年度	昭和45年度
構造種別	SB造（セラミックブロック造）	階数	平屋建て

## 2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続又は統合
説明	<p>外壁、屋根、内部仕上げには建築後ほぼ補修されておらず、劣化が見られる。また、電気・給水・排水・暖房などの設備は、不具合の都度、適切な維持補修しているものの、設備本体については更新されておらず、ほぼすべての設備が耐用年数を超過しており、部品調達が困難、また、機能性の低下が生じている。</p> <p>このため、施設・設備の更新を計画的に推進しないと今後施設が十分に機能しないなど利用に支障をきたす可能性があるため外壁、屋根などに長寿命化対策を講じなければならない。</p>

## 3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

<p>建築後、大規模な補修はされておらず、外壁、屋根、内部仕上げには広範囲に劣化が見られる。また、電気設備・給水設備・排水・暖房などの設備についても同様に、耐用年数が超過している設備もあり、機能の低下が生じている。このため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性がある。</p>
---

## 4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

<p>本町における母と子、老人及び住民の福祉の増進など地域内交流の拠点施設として昭和45年度に建設された。町民の地域コミュニティ活動はもとより、健康増進や芸術・文化活動の拠点としての機能を有しており、利用人数は減少しているものの今後も利用が見込まれる。</p>
--

## 5 改修等の対策の優先順位の考え方

<p>当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、空調、電気、給排水などの設備の維持補修を優先とする。</p>
--

## 6 施設利用需要

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用者数	2,009	219	180	

※令和1、2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉鎖。

## 7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
保守コスト				
運用コスト	307	237	221	
修繕コスト			17	
合計	307	237	238	

収入	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用料	11	10	18	
その他収入				
合計	11	10	18	

## 1 施設の概要

施設名	東部福祉センター	延床面積	331.24㎡
所在地	長沼町東町北1丁目3番10号	建築年度	昭和53年度
構造種別	S造（軽量鉄骨造）	階数	2階建て

## 2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続又は統合
説明	<p>外壁、屋根、内部仕上げには建築後ほぼ補修されておらず、劣化が見られる。また、電気・給水・排水・暖房などの設備は、不具合の都度、適切な維持補修しているものの、設備本体については更新されておらず、ほぼすべての設備が耐用年数を超過しており、部品調達が困難、また、機能性の低下が生じている。</p> <p>このため、施設・設備の更新を計画的に推進しないと今後施設が十分に機能しないなど利用に支障をきたす可能性があるため外壁、屋根などに長寿命化対策を講じなければならない。</p>

## 3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

<p>建築後、大規模な補修はされておらず、外壁、屋根、内部仕上げには広範囲に劣化が見られる。また、電気設備・給水設備・排水・暖房などの設備についても同様に、耐用年数が超過している設備もあり、機能の低下が生じている。このため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性があるため外壁、屋根などの長寿命化対策を講じなければならない。</p>
--

## 4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

<p>本町における母と子、老人及び住民の福祉の増進など地域内交流の拠点施設として昭和57年度に建設された。町民の地域コミュニティ活動はもとより、健康増進や芸術・文化活動の拠点としての機能を有しており、今後も利用が見込まれる。</p>
--

## 5 改修等の対策の優先順位の考え方

<p>当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、空調、電気、給排水などの設備の維持補修を優先とする。</p>
--

## 6 施設利用需要

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用者数	4,700	1,133	417	

※令和1、2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉鎖。

## 7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
保守コスト				
運用コスト	1,368	1,322	1,351	
修繕コスト	42		33	
合計	1,410	1,322	1,384	

収入	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用料	27	12	38	
その他収入				
合計	27	12	38	

## 1 施設の概要

施設名	西部福祉センター	延床面積	331.24㎡
所在地	長沼町錦町北1丁目2番15号	建築年度	昭和53年度
構造種別	S造（軽量鉄骨造）	階数	2階建て

## 2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続又は統合
説明	<p>外壁、屋根、内部仕上げには建築後ほぼ補修されておらず、劣化が見られる。また、電気・給水・排水・暖房などの設備は、不具合の都度、適切な維持補修しているものの、設備本体については更新されておらず、ほぼすべての設備が耐用年数を超過しており、部品調達が困難、また、機能性の低下が生じている。</p> <p>このため、施設・設備の更新を計画的に推進しないと今後施設が十分に機能しないなど利用に支障をきたす可能性があるため外壁、屋根などに長寿命化対策を講じなければならない。</p>

## 3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

<p>建築後、大規模な補修はされておらず、外壁、屋根、内部仕上げには広範囲に劣化が見られる。また、電気設備・給水設備・排水・暖房などの設備についても同様に、耐用年数が超過している設備もあり、機能の低下が生じている。このため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性がある。</p>
---

## 4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

<p>本町における母と子、老人及び住民の福祉の増進など地域内交流の拠点施設として昭和57年度に建設された。住民の地域コミュニティ活動はもとより、健康増進や芸術・文化活動の拠点としての機能を有しており、今後も利用が見込まれる。</p>
--

## 5 改修等の対策の優先順位の考え方

<p>当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、空調、電気、給排水などの設備の維持補修を優先とする。</p>
--

## 6 施設利用需要

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用者数	21,393	17,530	12,246	

※令和1、2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉鎖。

## 7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
保守コスト				
運用コスト	1,465	1,441	1,464	
修繕コスト	22	5	17	
合計	1,487	1,446	1,481	

収入	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用料	549	393	342	
その他収入				
合計	549	393	342	

## 1 施設の概要

施設名	中央長沼会館	延床面積	663.13㎡
所在地	長沼町中央南2丁目3番2号	建築年度	昭和53年度
構造種別	RC造(鉄筋コンクリート造)	階数	2階建て

## 2 計画期間内の施設の方針等

方針	存続又は統合
説明	<p>外壁、屋根、内部仕上げには建築後ほぼ補修されておらず、劣化が見られる。また、電気・給水・排水・暖房などの設備は、不具合の都度、適切な維持補修しているものの、設備本体については更新されておらず、ほぼすべての設備が耐用年数を超過しており、部品調達が困難、また、機能性の低下が生じている。</p> <p>このため、施設・設備の更新を計画的に推進しないと今後施設が十分に機能しないなど利用に支障をきたす可能性があるため給排水設備、暖房などに長寿命化対策を講じなければならぬ。</p>

## 3 施設の状態(劣化・損傷の状況や要因等)

<p>建築後、大規模な補修はされておらず、外壁、屋根、内部仕上げには広範囲に劣化が見られる。また、電気設備・給水設備・排水・暖房などの設備についても同様に、耐用年数が超過している設備もあり、機能の低下が生じている。このため、稼働が停止するなどの支障をきたす可能性がある</p>
--

## 4 この施設が果たしている役割、機能、利用状況、重要性等

<p>本町住民の学習、保育、休養又は集会の用に供するための共同利用施設として昭和53年度に建設された。町民の地域コミュニティ活動はもとより、健康増進や芸術・文化活動の拠点としての機能を有しているものの、近年では、学校統合や新たに児童館が新設され、学童保育など一部の機能が移転され利用人数は減少している。今後も利用が見込まれる。</p> <p>現在は、地域のコミュニティ活動を中心として利用されており、利用人数は減少している。</p>
--

## 5 改修等の対策の優先順位の考え方

<p>当面の改修等に係る優先順位は、躯体、屋根等の建物維持、空調、電気、給排水などの設備の維持補修を優先とする。</p>
--

## 6 施設利用需要

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用者数	9,186	846	1,376	

※令和1、2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時閉鎖。

## 7 施設の維持管理経費等

(単位：千円)

支出	令和元年度	令和元年度	令和2年度	備考
保守コスト				
運用コスト	422	400	571	
修繕コスト				
合計	422	400	571	

収入	令和元年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料	0	0	94	
その他収入				
合計	0	0	94	